

食糧調達を通じた人的ネットワークの構築過程 ——制度・政策の変化と参加型開発の影響：メコン河の島村での事例——

平成 18 年度入学
派遣先国：カンボジア
宮崎由伊

キーワード：生業、漁業規制、イルカ保護、参加型開発、食糧調達、人的ネットワーク

対象とする問題の概要

カンボジアの首都プノンペンには、急激な近代化の途上であり、出稼ぎ労働者の住宅街がもの凄い速さで建設されている。また首都から離れた小さな村の市場でも、首都まで商品の仕入れに行く人は珍しくなく、都市とのアクセスが学業や商売成功の重要な要素であると感じた。

私の調査地は、首都からメコン川に沿ってバスで北上すること約 6 時間のクラチエ州都から、更にタクシーで 1 時間半、ボートで 15 分程してようやく姿を見せる島の中に位置する。全長 48km の島には市場も病院もなく、学校は中学校までしかない。村人にとっては、都市はおろか最寄りの町まで出るのも一苦勞である。村人の大半は農業を生業とし、乾季には暇を見つけ魚を獲りに行く。耕作地の老朽化や相続による減少、漁業においてもメコン川の魚の減少に加え、島周辺が稀少なイルカの保護区に指定されているために漁具や漁業区域に規制がかかり、調査期間中、食糧調達に悩む村人も多かった。



豚もヒトも子沢山。

研究の目的

本研究の目的は、時代とともに変化してきた制度・政策や NGO の活動を踏まえ、食糧調達を通じた人間関係の構築過程を考察することである。

調査地の人々は、1950 年代に第一次インドシナ戦争の戦火を逃れて本土から移住してきて以来、集団農業政策や漁業規制、NGO からの家畜の援助に適応する形で生業を変化させてきた。

病気や水害に起因する食糧不足への対応力は、NGO が導入した米銀行や貯蓄組合などによって部分的に改善されたようだが、外来の制度が導入されるずっと以前から、危機的状況下で食糧を調達するための人的ネットワークが存在していたはずである。

そうしたネットワークはどのように構築されてきたのか。その過程で制度や政策、NGO がどのような役割を果たしたのか。これらの問いに答えることで、外部社会からの働きかけが村落社会に与える影響の一側面を考察する。これは村落開発を行う上で重要な問題であろう。



生簀の中には 300 匹のカエルが…慣れると美味。

フィールドワークで得られた新たな知見

第一に、島という地理的特殊性に起因する村人の様々な苦悩である。例えば私がお世話になった家の世帯主は村に2人しかいない医者で、町の病院にも2、3日に1度勤務しているが、夜中でも時々薬や点滴を求める村人の声に起こされる。しかし、行政は村人が病気になったとき、町の病院に行くことを推奨しているため、病院から薬を村に持ち帰ることができず、私費で薬屋から買っている。



金の木を持って寺まで行進（カタン祭にて）

ポルポト時代（1975-79）には油をとるためにイルカが大量に殺されたことを受け、ヴェトナムの支援を受けた新政府（1979-89）はイルカの保護を推進し、村人の違法漁業を厳しく取り締まった。当地域におけるイルカの保護は、その希少価値を知る国際保護団体や NGO の働きかけによると思われがちだが、イルカ保護の観念はもっと昔からあったのだ、と教えてくれた。

以上のことは、村人とゆっくり向き合う時間と、雑談ができるような人間関係がなければ知りえなかっただろう。

今後の展開・反省点

調査に不可欠な言語がある程度身についたことは、今回の渡航の大きな収穫である。予備調査中は研究テーマが不明確だったこともあり、村の概況、及び平均的な生活環境を把握することに徹したので、約一月後から予定している本調査までに予備調査で得たデータの整理を行う。本調査では、予備調査の補充・補足及び、テーマに即して回答者を選択し、より焦点を絞った詳細な聞き取りを行う必要もあるだろう。また、論文執筆においては、あらかじめ準備した聞き取りだけでなく、観察や普段の何気ない言動から窺える村人同士、或いは村人と NGO の関係性も可能な限り考察に加えたい。

第二に、NGO の活動に積極的に関わっている村人とそうでない人々、NGO スタッフと村人、といった立場の異なる両者の主張の食い違いに気付いたことである。例えば、援助をあまり受けていない人々は、「時間と労働力がない」と主張するが、活動に熱心な人々から見れば、「彼らは怠けているだけだ。会議にも来たことがない」という具合である。また、NGO が推奨する生産向上のための農法について、「栄養分の少ないうちの水田では成功しない」という村人の声を聞いたが、同じく長年の耕作で生産性が低下しているはずの NGO の実験田で、去年よりはるかによい収穫があった。村人の本音としては、新しい農法になじめない、面倒、農法の利点をよく理解していない、などが考えられる。

第三に、上述のように外部社会から半ば閉ざされた島という地理的特殊性の他、歴史的特殊性である。イルカの保護について村長が語ってくれた話がある。



収穫作業はいちばんの喜び